

120

144 W 1st St
Salt Lake City
Utah

今個新少紙上を承りて此水
御親父様は清逝去遊域々
此た事を見おいて家人を
入りまゝに定めし清家様様
るは清遊腸の清と清家一甲
上まゝ物下りて渡米以來
餘りも我か子の様可愛から
れて事変突死後にも此以外
子出らぬやいと云ふ期日か定ま
つた時子最年戦事終る迄
へぬわらと能く会ひませぬ
まゝして清礼の系上にて清
かうたのは終りてして
子存りまゝに平和な
る樹水たうと清和心
む水まのせん新了を見
むかくと病が出来て
字を見せなかりまゝ

平和な時でありましたら病気の
の時も知らぬと云ひますし、
たう何の置いても糸糸して病
床の隅を切水たすので、
老人ならぬた格の新紙上で
知る接ぎました。謝の申訳は
も病室にす世人の世帯や、
もあつたす。故に、
御方仰る一親の遺志を、
し、御方から申して下さり、
子御の御水の日か、
御話も、
す御悔ひ申上す。

一八九四年十月廿日

本多徳三郎

重中院様
左様